

Mémoires 2014

阪神ジュベナイルフィリーズ

第66回阪神ジュベナイルフィリーズ(G I)優勝馬 ショウナンアデラ



父譲りの豪脚で

ショウナンアデラ

Shonan Adela

G Iで出走全馬の父が異なるのは、2009年ジャパンカップダート以来の珍事。個性豊かなメンバーが揃った2歳女王決定戦は、1番人気が新種牡馬ハービンジャー産駒のロカ、以下キングカメハメハ産駒レッツゴードンキ、ハーツクライ産駒コートシャルマン、ステイゴールド産駒ココロノアイと続いた。

まだ1戦1勝ながら、新馬での勝ちっぷりを評価されたロカは、しかしいきなり大きく出遅れる。その後も終始掛かり気味で、最後は8着。キャリアの浅さを露呈した形となった。

それほど速くはないペースで流れたレースは、比較的馬群が固まつたまま推移した。直線を向き、逃げていたスマートプラネットをムーンエクスプレスが捉え、そこへ中団から伸びたココロノアイとレッツゴードンキが襲いかかって交わす。残り100メートル過ぎ、もうこの2頭で決まりかと思われた瞬間、外から矢のように飛んできた馬がいた。5番人気のディープインパクト産駒、ショウナンアデラだった。

ロカほどではないが、スタートは出遅れ気味だったショウナンアデラは、道中は後方集団でじっくり我慢。直線では馬群を縫うように上昇し、外に出されると一気の伸び。まさに並ぶ間もなくという言葉がぴったりの末脚で、競り合うライバルたちをまとめ交わしてみせた。

下河辺牧場の生産馬はマイルチャンピオンシップのダノンシャークに続き、この秋G I・2勝目。蛯名正義騎手と二ノ宮敬宇調教師のコンビによる国内G I勝ちは、あのエルコンドルパサードの1998年ジャパンカップ以来のものとなった。

人気で敗れたロカは、母系を見ればディープインパクトの姪という血統背景の持ち主。そのロカにかわって主役となったのは、やはりディープインパクト産駒なのだった。

第66回阪神ジュベナイルフィリーズ(G I)

12/14 阪神競馬場 1600m(芝・右・外) 晴・良 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	ショウナンアデラ	牝2	54	蛯名正義	二ノ宮敬宇	1:34.4	⑤	13/12
2	レッツゴードンキ	牝2	54	浜中 俊	梅田智之	1/2	②	9/10
3	ココロノアイ	牝2	54	横山典弘	尾関知人	1/2	④	9/8
4	ムーンエクスプレス	牝2	54	松山弘平	鈴木孝志	3/4	⑫	3/4
5	アルマオントーナー	牝2	54	幸 英明	西浦勝一	クビ	⑪	4/5
6	スマートプラネット	牝2	54	酒井 学	和田雄二	3	⑩	1/1
7	レオパレディナ	牝2	54	武 豊	高橋康之	1/2	⑦	9/8
8	ロカ	牝2	54	和田竜二	今野貞一	クビ	①	16/16
9	オーミアリス	牝2	54	国分優作	藤沢則雄	1/2	⑧	16/16
10	コートシャルマン	牝2	54	川田将雅	松永幹夫	3/4	③	5/6
11	ダイワロッパー	牝2	54	高倉 稔	松田国英	ハナ	⑯	15/12
12	カボスチャン	牝2	54	嘉藤貴行	牧 光二	1 3/4	⑭	8/6
13	ダノングラシアス	牝2	54	W.B.ビュック	矢作芳人	クビ	⑥	12/10
14	クールホタルビ	牝2	54	小牧 太	清水久詞	2	⑨	7/15
15	アローシルバー	牝2	54	藤田伸二	高橋康之	1 3/4	⑮	14/12
16	エフクト	牝2	54	藤岡佑介	服部利之	1 1/2	⑯	5/2
17	トーセンラーク	牝2	54	四位洋文	菅原泰夫	1 1/4	⑩	16/16
18	アカリアイドル	牝2	54	国分恭介	村山 明	2	⑪	2/2

単勝⑩980円 複勝⑩260円 ⑪170円 ⑫230円 枠連(6-8)1,130円
馬連⑪-⑩2,200円 馬単⑩-⑪5,110円 ワイド⑪-⑩780円 ④-⑩990円 ④-⑪570円
3連複④-⑪-⑩3,530円 3連単⑩-⑪-⑩22,780円

ハロンタイム 12.5-11.0-11.5-12.2-12.0-11.4-11.5-12.3

通過タイム 600m:35.0-800m:47.2-1000m:59.2-1200m:1:10.6-1400m:1:22.1

優勝馬 ショウナンアデラ
2012.2.10生 父ディープインパクト 母オールウェイズウイリング 母の父Elusive Quality
日高・下河辺牧場生産 馬主:国本哲秀氏